

れいろう

〈れいろうカレッジ〉

今月のテーマ

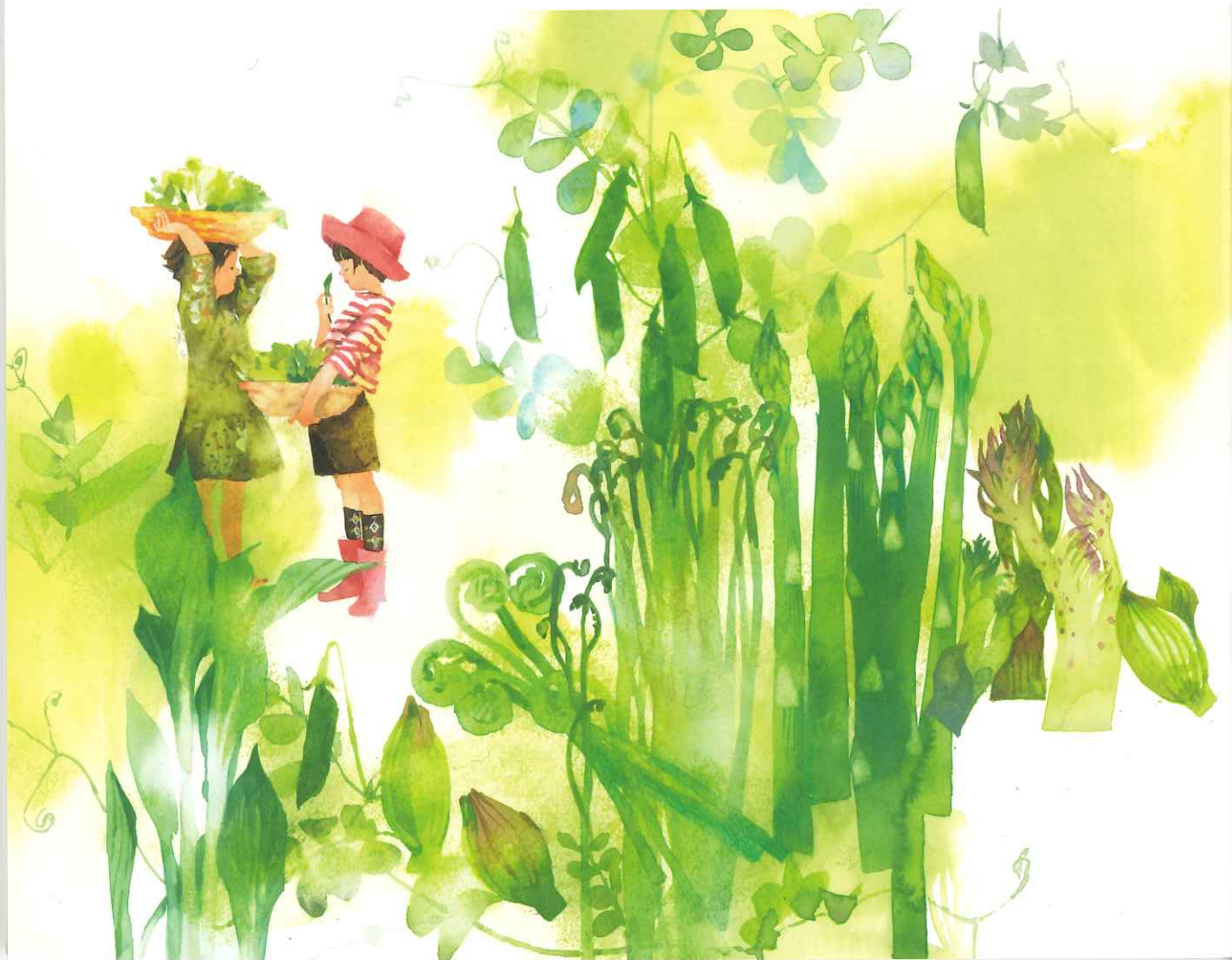
「友だち」づき合いに 大切なことって？

〈おうちで楽しむ和の行事〉

三色の花見だんごの作り方

〈これで花まる!〉

最近笑っていますか





メンが食える大人に育てる、でおなじみ「花まる学習会」の講師たちが、親と子のおうち時間を幸せで豊かにするヒントをお届けします。

我慢の日常の中でも

たくさん笑い、幸せを集めよう

マイペースな子には

私の感覚では、九割九分の子どもはマイペースで、「急ぎなさい!」と言っても、なかなかエンジンがかかりません。しかし、成長するにしたがって、落ち着くところに落ち着くので心配はしていません。では、マイペースな子に対して、花まる学習会の授業ではどのような対応しているかというと、意外かもしれないが待たずに進めません。すると、周りが問題を解き始めることで、本人も急ぎ始めます。そうこうしているうちに周りに追

いつけるようになるのです。子どもを信じて一時的に置いていくことは、口で言うよりも効果があるようです。

「楽しい」を引き寄せる

ある日のことです。子どもたちがテキストの問題を解いている様子を観察していると、小学一年生の女の子の手が止まりました。彼女は、自分の消しゴムを観察するという謎の任務を遂行してしました。消しゴム観察は想像以上に時間を要する任務だったようで、



花まる学習会 教室長
やまざき たかし
山崎 隆

昭和57(1982)年、千葉県生まれ。震災時のボランティアをきっかけに、教育の世界へ。幼稚園から小学生の十数人に対して自分一人向き合ったとき、年代もやりたい遊びもばらばらの子どもたちを「だるまさんが転んだ」でまとめ上げることに成功し、自分の適性に気づく。同時に、初めて接する大人を受け入れて、遊び仲間に加えてしまえる子どもたちの大きな可能性を知った。現在は花まる学習会の教室長として、年中から小学6年生までの子どもたちと日々向き合い続けている。

なかなか終わりません。そこで私が「どうしたの?」と声をかけると、彼女はふと我に返り、問題を解き始めました。

少しスピードアップしてもらおうと、彼女が一問解き終えるごとに、私がさかさずクルッと赤ペンでマルをつけていきました。クルツ、クルツとマルをつけていくと、間違っている答えがありました。私の手が止まったのを見て、彼女は私の顔をのぞきこんできました。誤答であることを伝えるために、私は少しおどけた表情をしてみました。すると彼女は、「キャハハッ」と笑って消しゴムで答えを消し、また考え始めました。

クルツクルツ……キャハハッ 間違えるたびに、私はおどけた表情で笑わせ、間違いに気づかせました。ちょっとしたおふざけではありますが、彼女の考えるスピードはどんどん上がり、集中力も高まっていくのが目に見えて分かりました。説明をしなくても、間違いであることが分かり、自分で考

え直すことができれば、それは彼女の力になっていくはずですよ。

そのマルつけが楽しい時間になったようで、彼女は授業の後も私の近くに寄ってきて顔をのぞきこんできました。

このように、楽しませながら問題を解かせること自体が、花まる学習会の指導方法ということではありません。ただそのとき、その現場においては効果的な方法だっただろう、とは思っています。

その日以降も、彼女は楽しそうに問題を解いています。あいかわらず多少のマイペースさはあるですが、「問題を解く時間」が「楽しい時間」として刷り込まれたのだとしたら、あの時間に意味はあったのでしょ。

この楽しさは「問題を解く」本質的な楽しさではなかったかもしれませんが、しかし「この時間が楽しい」という感覚が、「問題を解く」本質的な楽しさに移っていく可能性を私は信じます。何より、このときに生まれた笑顔が、次の「楽

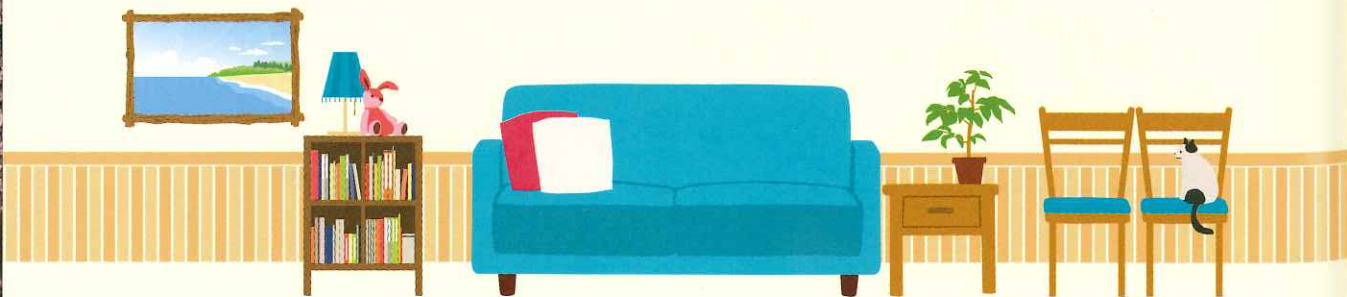
しい」を引き寄せることでしょう。それを繰り返していくことで、彼女の人生が幸福に包まれたものになってほしいと思っています。

笑うから幸せなのだ

「ほんとうのことを言うと、幸福も細切れに分けられているものなのだ」。哲学者・アランの言葉を彼女の笑顔から思い出しました。子どもは細切れに分けられた幸せを集める名人です。

アランはこうも言っています。「幸せだから笑っているのではない。むしろぼくは、笑うから幸せなのだ、と言いたい」(「幸福論」岩波書店)。

淡々と我慢する生活が続き、親子どもも笑うことを忘れていませんか? 日常の家庭のやり取りの中に、楽しい時間と笑いを見つけ出せば、それは家族にとつてのエンジンになるはずです。そうした幸せを伝えるのも、身近な大人の役割かもしれません。

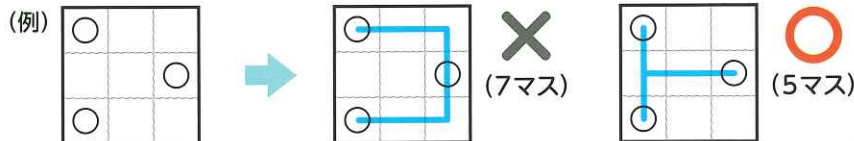


問題提供=樋口卓也 (花まる学習会・スクールFC)

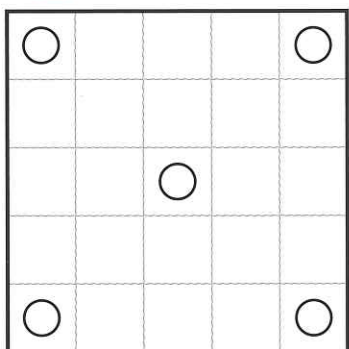
さいたん さが
「最短ルートを探せ!」

マスの中のすべての○を線で1つにつなぐ、最短ルートを見つけましょう。
ただし、ななめのマスをつなぐことはできません。

Q

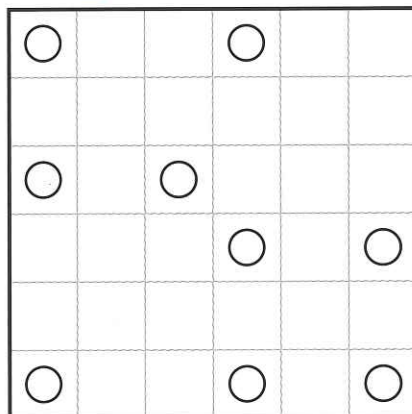


レベル 1



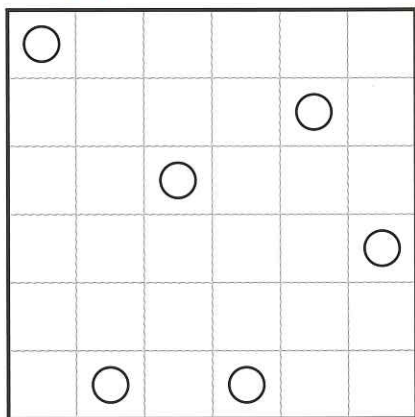
ヒント：最短は13マス

レベル 10



ヒント：最短は18マス

レベル 50



ヒントなしで挑戦!



3月号の解答

- レベル1 スイカ
- レベル2 さんすう
- レベル10 ヴァイオリン
- レベル50 れいぞうこ
- レベル100 こどもはかせのこ

今月号の解答は、令和3年5月号で発表します。